

令和2年度

事業報告書



社会福祉法人 三豊市社会福祉協議会

目 次

1. 法人運営事業	2	8. ファミリー・サポート・センター事業	
2. 地域福祉事業		(1) ファミリー・サポート・センター事業	32
(1) 地域福祉活動推進事業	7	(2) 子育てホームヘルプ事業	34
(2) 福祉啓発事業	9	9. 居宅介護支援事業	35
(3) 相談事業	10	10. 訪問介護事業	
(4) 福祉バス管理運営事業	11	(1) 訪問介護事業	38
(5) ボランティア活動推進事業	11	(2) 生活支援訪問事業	38
(6) 団体助成事業	12	(3) その他訪問事業	39
(7) 認知症サポーター養成講座事業	12	11. 障害福祉サービス事業	
(8) 障害児長期休暇中預り事業	13	(1) 障害福祉サービス事業(居宅介護)	40
(9) 自発的活動支援事業	13	(2) 障害福祉サービス事業(行動援護)	40
(10) 生活支援体制整備事業	14	12. 移動支援事業	41
(11) 三豊市こどもの居場所づくり事業	16	13. 高齢者デイサービスセンター事業	41
(12) 福祉介護共同送迎実証事業	17	14. 生活支援通所事業	42
3. 共同募金配分事業		15. 高齢者生活福祉センター事業	42
(1) 福祉まつり開催事業	18	16. その他事業	
(2) 福祉教育推進事業	18	(1) 老人クラブ連合会	42
(3) サロン活動推進事業	19	(2) 共同募金事業	44
(4) 広報啓発事業	21	(3) 子育てボランティアみみちゃん	46
(5) 社会福祉大会開催事業	21	(4) フードバンク事業	47
(6) 災害対策推進事業	22		
(7) まるみプラン推進事業	24		
(8) 地域我が事・丸ごと推進事業	26		
4. 生活福祉資金貸付事業	27		
5. 福祉サービス利用援助事業	27		
6. 法人成年後見等事業			
(1) 法人成年後見等事業	29		
(2) 市民後見人養成支援事業	30		
7. 生計困難者に対する相談支援事業	31		

事業報告の概要

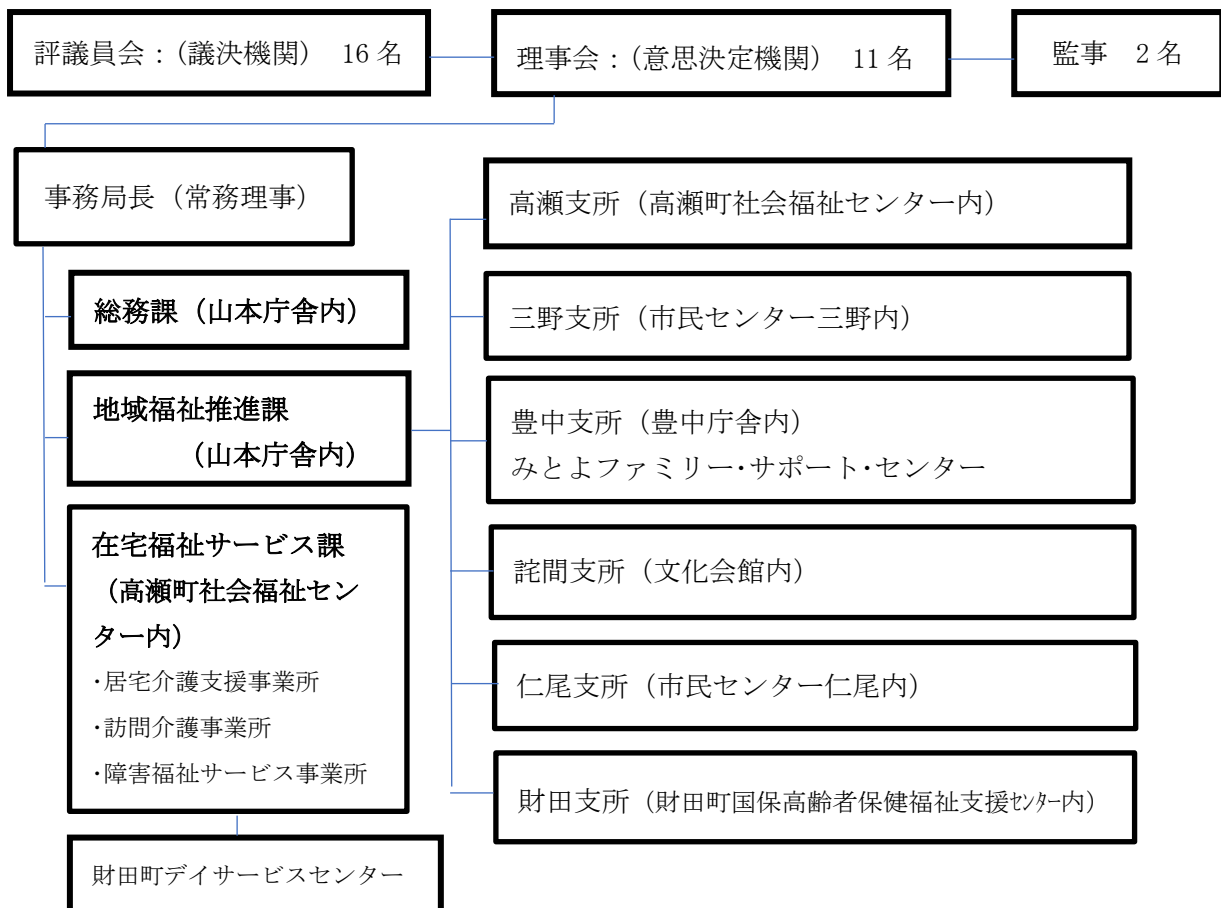
令和2年1月15日に国内で初めて確認された新型コロナウイルス感染症は、1年以上たった今でも終息の目途は立たず、三豊市社協の事業・活動や地域住民による地域福祉活動について、実施方法の変更など活動内容の大きな変容を迫られました。これまで経験したことのない社会の変化に社協職員、地域住民が直面する中で、“つながり”が途切れることなく、お互いの暮らしを気にかけてあい支え合うには、どうすればいいのか協議を重ね取り組んでまいりました。

このような中、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、第3期まるみプランの基本理念に掲げた『くらし・こころ・みらい「豊かなまちづくり」』の実現に向けて、地域の皆さま、行政、福祉関係者等と連携し、各種事業を推進しました。

新たに取り組んだ「こどもの居場所づくり事業」においては、市内のこども食堂やその他こどもの居場所づくりに関わる団体等とのネットワークを構築し、団体間の繋がりによる活動の広がりや情報共有を深める活動の結果、市内の7か所で居場所が整備されました。以下、令和2年度の具体的な事業実績等について報告します。

組織図・職員状況等

(令和3年3月31日現在)



【職員体系】 ※常勤職員数

事務系	・事務局長(嘱託) 1	・正職員 15	・有期雇用職員 12	・嘱託 1	
介護系	・正職員 13	・有期雇用職員 3	・嘱託 3		合計 48名

1. 法人運営事業 事業費 103,749,880円

① 理事会・評議員会等の開催

<理事会>

開催日	議事等
第 66 回 令和 2 年 6 月 9 日 出席 理事 11 名 監事 2 名	報告第 1 号 会長専決事項について 議案第 1 号 令和元年度事業報告について 議案第 2 号 令和元年度収支決算について 議案第 3 号 ホームページリニューアル業務委託に係る随意契約について 議案第 4 号 就業規則の一部改正について 議案第 5 号 評議員選任・解任委員の選任について 議案第 6 号 評議員選任候補者の推薦について 議案第 7 号 第 55 回評議員会(定時評議員会)の招集について
第 67 回 6 月 24 日 出席 理事 10 名 監事 2 名 欠席 理事 1 名	議案第 1 号 会長の選定について 議案第 2 号 常務理事の選定について 追加議案第 1 号 副会長の選定について
第 68 回 9 月 24 日 出席 理事 10 名 監事 2 名 欠席 理事 1 名	報告第 1 号 会長及び常務理事の職務の執行状況について 議案第 1 号 令和 2 年度第 1 次資金収支補正予算について 議案第 2 号 第 56 回評議員会の招集について
第 69 回 12 月 9 日 出席 理事 11 名 監事 2 名	議案第 1 号 令和 2 年度第 2 次資金収支補正予算について 議案第 2 号 諸規程等の一部改正について 議案第 3 号 第 57 回評議員会の招集について
第 70 回 令和 3 年 3 月 12 日 出席 理事 9 名 監事 2 名 欠席 理事 2 名	報告第 1 号 令和 2 年度社会福祉法人指導監査の結果について 報告第 2 号 会長専決事項について 報告第 3 号 会長及び常務理事の職務の執行状況について 議案第 1 号 令和 2 年度第 3 次資金収支補正予算について 議案第 2 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 3 号 令和 3 年度事業計画について 議案第 4 号 令和 3 年度資金収支予算について 議案第 5 号 諸規程等の制定並びに一部改正について 議案第 6 号 役員等賠償責任保険の契約について 議案第 7 号 第 58 回評議員会の招集について

<評議員会>

開催日	議事等
第 55 回 令和 2 年 6 月 24 日 出席 評議員 15 名 監事 2 名 欠席 評議員 1 名	議案第 1 号 令和元年度事業報告について 議案第 2 号 令和元年度収支決算について 議案第 3 号 就業規則の一部改正について 議案第 4 号 役員（理事）の選任について
第 56 回 10 月 2 日 出席 評議員 15 名 監事 2 名 欠席 評議員 1 名	議案第 1 号 令和 2 年度第 1 次資金収支補正予算について
第 57 回 12 月 22 日 出席 評議員 15 名 監事 2 名 欠席 評議員 1 名	議案第 1 号 令和 2 年度第 2 次資金収支補正予算について 議案第 2 号 諸規程等の一部改正について
第 58 回 令和 3 年 3 月 25 日 出席 評議員 16 名 監事 2 名	報告第 1 号 令和 2 年度社会福祉法人指導監査の結果について 議案第 1 号 令和 2 年度第 3 次資金収支補正予算について 議案第 2 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 3 号 令和 3 年度事業計画について 議案第 4 号 令和 3 年度資金収支予算について 議案第 5 号 諸規程等の制定並びに一部改正について

<監事会>

開催日	議事等
令和 2 年 5 月 22 日 出席 会長・監事 2 名	令和元年度事業報告について 令和元年度収支決算について

<評議員選任・解任委員会>

開催日	議事等
第 7 回 令和 2 年 6 月 9 日 出席 委員 4 名	評議員の選任について

② 役職員等研修会

役職員等が、三豊市社協は具体的に「どのような地域を目指しているのか」また、そのために「事業・活動等をどのように進めていくのか」、といった組織の使命やビジョンを改めて確認するとともに、これらの共通理解をもって日々の業務・実践にあたることに重要なことから、県社協等が開催する研修会等に参加した。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部オンライン研修となった。

開催日	内容等
令和2年5月1日 令和3年3月29日 常務理事	令和2年度香川県内社会福祉協議会連絡協議会理事会 第1回（オンライン会議）第2回（高松市）
令和2年7月14日 令和3年2月24日 常務理事	令和2年度市町社会福祉協議会常務理事・事務局長会議 （高松市）
令和2年11月11日 常務理事	第9回香川県内社会福祉協議会常務理事・事務局長セミナー （高松市）
12月18日 職員1名	令和2年度人事労務管理セミナー （高松市）
令和3年1月26日 職員5名	第7回香川県内社会福祉協議会実践研究大会 （高松市）

③ 職員研修

開催日	内容等
令和3年1月18日～ 31日 職員47名	交通安全セミナー（オンライン研修） あいおいニッセイ同和損保（株）の協力により、パソコン、スマホ等で各自がオンライン受講し、安全運転意識を高めた。

④ 自主財源の確保

（ア）会員の募集

市内全域及び地区の福祉活動の推進のため、会費の納入について協力を自治会長等にお願した。

- ・一般会費（一口 500円）
令和2年度 17,314戸 8,657,250円
（令和元年度 17,605戸 8,802,500円）
- ・賛助会費（2,000円以上）
令和2年度 19件 142,000円
（令和元年度 22件 151,000円）

<会費内訳>

地区	一般会費（一口 500円）		賛助会費（2,000円以上）	
	戸数（戸）	実績額（円）	会員数（件）	実績額（円）
高瀬	3,878	1,939,000	2	12,000
山本	1,810	905,000	5	22,000
三野	2,409	1,204,500	4	47,000

豊中	2,741	1,370,500	2	20,000
詫間	3,826	1,913,000	2	20,000
仁尾	1,613	806,750	1	2,000
財田	1,037	518,500	1	2,000
市外	0	0	2	17,000
合計	17,314	8,657,250	19	142,000

※一般会費と賛助会費合計 8,799,250円

(イ) 社会福祉事業への香典返し等（寄附金・物品寄附）

寄附者の意に沿うよう「地区社協」の活動助成を行う等、地域福祉に関係する活動を支援した。

<寄附の内訳>

※（ ）内は前年度末

項目	件数	金額(円)
寄附金	30 (41)	1,769,841 (2,733,011)
物品寄附(車イス)	1 (2)	30,000 (100,000)
合計	31 (43)	1,799,841 (2,833,011)

⑤ 地区社協への助成

地区社協の地域福祉活動に対し助成金を交付した。

<各地区社協の状況>

24地区社協 助成金総額 4,813,000円

地区名	地区社協名	設立年月	主な活動内容
高瀬	勝間	S53.4	元気会(内容を変更して実施)、男性クッキング(コロナ禍のため中止)、高齢者訪問、学校等の情報交換会、世代間交流、福祉用備品設置等
	上高瀬	S46.4	元気会(内容を変更して実施)、男性クッキング(コロナ禍のため中止)、高齢者訪問、学校等の情報交換会、世代間交流、福祉用備品設置等
	二ノ宮	S53.4	元気会(内容を変更して実施)、高齢者訪問、学校等の情報交換会、世代間交流等
	比地二	S53.4	元気会(内容を変更して実施)、男性クッキング(コロナ禍のため中止)、高齢者訪問、学校等の情報交換会、世代間交流、福祉用備品設置等
	麻	S47.4	元気会(内容を変更して実施)、男性クッキング(コロナ禍のため中止)、高齢者訪問、学校等の情報交換会、世代間交流、福祉用備品設置等
山本	辻	H19.3	子育てサロン、ぼだい山登山、防災研修、敬老会、高齢者等訪問、地区社協だより等
	河内	H19.3	ふれあい交流活動、健康ウォーキング、料理教室、敬老会、高齢者等訪問、地区社協だより等

	財田大野	H19.3	三世代交流活動、男性料理教室、サロン交流会、敬老会、高齢者等訪問、地区社協だより等
	神田	H19.3	神田の歴史・文化をたずねて、立石山登山、男性料理講習、敬老会、高齢者等訪問、地区社協だより等
三 野	下高瀬	H18.4	子ども・高齢者対象交流事業、サロン支援、防災、見守り活動他
	吉津	H18.4	子ども・高齢者対象交流事業、サロン支援、防災、見守り活動他
	大見	H18.4	子ども・高齢者対象交流事業、サロン支援、防災、見守り活動他
豊 中	桑山	H17.12	お年寄り花見会、高齢者在宅訪問、施設訪問、まるみウォーキング等
	比地大	H17.8	安全パトロール、ひとり暮らし高齢者等訪問、防災、サロン支援、まるみウォーキング等
	笠田	H18.2	とよなか荘訪問、地域づくり講演会、ひとり暮らし高齢者訪問、まるみウォーキング等
	上高野	H18.5	配食サービス、福祉推進月例会、防災訓練、まるみウォーキング等
	本山	H17.8	福祉運動会、友愛訪問、高齢者訪問、まるみウォーキング等
詫 間	松崎	H21.1	見守り活動、松崎史蹟めぐり、健康ウォーキング、ふれあい会食（コロナ禍のため中止）、サロン支援、敬老会（訪問・安否確認）、たくま分散ウォーキング協力等
	詫間	S42.3	敬老会（訪問・安否確認）、たくま分散ウォーキング協力等
	大浜	S42.3	敬老会（訪問・安否確認）、防災フェスタ協力等
	箱浦	H21.4	敬老会（訪問・安否確認）、箱浦地区内海浜清掃活動協力等
	栗島・志々島	S42.3	敬老会（訪問・安否確認）、防災フェスタ協力、西浜海浜清掃等
仁 尾	仁尾	H18.6	地域の清掃活動及び防災訓練（コロナ禍のため中止）、敬老会（訪問・安否確認）、福祉ポスター募集・展示、サロン支援、見守り活動 三世代交流ペタンク会場環境整備（仁尾地区地域福祉活動計画実行委員会応援）
財 田	財田	H18.11	高齢者への配食サービス（おはぎ、弁当） 防災講演会、高齢者へ年賀状（小学生に依頼）

2. 地域福祉事業 事業費 15,439,542円

(1) 地域福祉活動推進事業 事業費 1,814,164円

① 福祉協力員の設置支援

小地域福祉活動の活性化や援助活動等の担い手である福祉協力員等を設置している9地区社協に対し、要綱に基づき助成金を交付した。

<助成状況>

地区名（設置地区社協）	人数(人)	助成額（円）	活動内容
高瀬地区			
麻地区社協	6	12,000	地域の見守り 元気会やサロンの補助等
二ノ宮地区社協	9	18,000	
上高瀬地区社協	9	18,000	
勝間地区社協	11	22,000	
比地二地区社協	6	12,000	
三野地区			
大見地区社協	7	14,000	地域の見守り サロンの補助等
吉津地区社協	5	10,000	
下高瀬地区社協	5	10,000	
豊中地区			
上高野地区社協	45	90,000	地域の見守り サロンの補助等
計	103	206,000	

② こんにちはコール

ひとり暮らし高齢者等に、電話訪問員（ボランティア）が電話を通じて話を聴くことで、安否の確認と孤独感の緩和を図るとともに、民生委員・児童委員等と連携をとりながら見守り活動の充実を図ることを目的に実施した。

○実施内容

月2回（第2・4水曜）ボランティアゆうゆうの会により本所（山本）にて実施

月2回（第1・3水曜）民生委員・児童委員により財田にて実施

○利用者数 ゆうゆうの会 12人、財田地区 5人 計 17人

③ 緊急医療情報キット（まるみちゃん安心キット）の設置

緊急医療情報キットの設置は、主にひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、障がいのある人などを対象に、緊急時に迅速な救急活動を円滑に行うため、かかりつけ医・薬剤情報・緊急連絡先などを記入した書類を容器（キット）に入れて保管しておき、緊急時に役立てることを目的に実施した。

民生委員・児童委員の協力により新たに必要とする方へ設置し、併せて年1回（年度始め）の更新を実施した。また、消防署より年度内の安心キット活用事例について情報提供を頂き、普及啓発に努めた。

<キット設置状況>

地区		高瀬	山本	三野	豊中	詫間	仁尾	財田	計
区分	①	19	13	6	2	21	22	5	88
	②	0	0	4	0	0	2	4	10
	③	0	3	1	0	4	7	0	15
	④	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑤	0	0	0	0	0	0	0	0
年度内設置計		19	16	11	2	25	31	9	113
年度末設置世帯		137	59	89	68	217	106	37	713
年度末利用人数		146	63	141	73	258	118	45	844

【区分】① 65歳以上の者のひとり暮らし世帯

② 65歳以上の者のみで構成されている世帯（高齢者世帯）

③ 65歳以上の者が含まれる世帯（高齢者同居世帯）

④ 障がいのあるひとり暮らし世帯

⑤ その他

④ 福祉器具貸出

車イス：年度末現在 98 台所有

（内、市民への貸出可能台数 58 台、施設等常設 30 台、デイサービス専用 10 台）

<車イス貸出件数>

高瀬地区	26	詫間地区	16
山本地区	10	仁尾地区	12
三野地区	7	財田地区	3
豊中地区	7	合計	81

・その他、高齢者疑似体験セットの貸出を実施した。

⑤ チャイルドシート・ジュニアシート貸出

乳幼児の保護者等に、チャイルドシート等を貸出することにより、乳幼児の健全な成長を支援するとともに、子育て中の保護者等（里帰り・帰省時）に係る経済的な負担や、地域における乳幼児交通事故防止、交通事故被害者の軽減を図ることを目的に貸し出しをした。新型コロナウイルス感染症拡大防止により、里帰りや帰省の自粛が求められたこともあり、チャイルドシート等の貸出も減少した。

<月別利用者数>

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出数	2	0	0	2	1	4	2	3	2	2	0	3	21

⑥ 実習生受入事業

社会福祉士養成校と令和3年度の実習生の受入に向け、調整を行った。

(2) 福祉啓発事業 事業費 109,838円

① 福祉作文

社会福祉の啓発・向上のために、三豊市内の小・中学校の児童・生徒が、福祉の大切さを自覚し、心豊かな人になることを願って福祉作文を毎年募集していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響にて、夏休み期間の短縮等により募集を中止した。

② ふくし川柳

新型コロナウイルス感染症拡大防止により、これまで毎年実施していた福祉作文コンテストについても中止を余儀なくされた。そこで、福祉作文コンテストに代わるものとして、川柳の創作と作品を通して、社会福祉意識の啓発・向上や福祉の大切さを広く伝えるために、「ふくし川柳」の作品を募集した。

総数 70 件の応募があり、入賞者には賞状と副賞を贈呈し、社協広報紙『しちふく』やホームページに掲載した

<小・中学生の部>

応募総数	受賞内訳 (人)
34 件	最優秀賞 1
	優秀賞 2
	入選 2

<一般の部>

応募総数	受賞内訳 (人)
36 件	最優秀賞 1
	優秀賞 2
	入選 2

③ ファミリー写真コンテスト

コロナ禍の外出自粛の中で家族と共に過ごすことが多くなり、もう一度家族や地域とのつながりを再確認し、ファミリー写真コンテストへの参加を通じて絆を深めるきっかけ作りを行った。また、地域の若い世代に社協の存在・活動への関心を深めることに努めた。

54 件の応募があり、最優秀賞、優秀賞を含め入選者へ賞品を送付し、社協広報紙『しちふく』やホームページに掲載した。

<審査結果>

応募総数	受賞内訳 (人)
54 件	最優秀賞 1
	優秀賞 2
	入選 17

(3) 相談事業 事業費 1,467,856円

地域住民の生活課題の解決に向け、日常生活に関する悩みや問題に対する「心配ごと相談」、法律に関する「法律相談」及び「社協ふくし相談」を開催した。

① 心配ごと相談

令和2年度より名称を「くらしの相談」から「心配ごと相談」に変更し、生活課題を早期発見することを目的として、民生委員・児童委員が地域住民の相談に応じた。

また、必要に応じて各支援機関や専門員と連携を図った。

<相談状況等> 相談：各支所毎月1回(第3水曜日)開催

地区	相談件数	相談分類計※	主な相談内容
高瀬	3	14	土地の境界・隣人
山本	5	6	家族
三野	1	2	生計
豊中	3	1	住宅
詫間	4	1	財産
仁尾	5	1	年金
財田	2	1	職業・生業
計	23	1	結婚・離婚

※相談分累計は、相談内容ごとに集計したため相談件数と一致しない。

② 法律相談

地域住民が日常生活における問題・紛争等の解決に、法律の知識を要するものについて、香川弁護士会と連携し、弁護士による指導及び助言を得ることができる場を設けた。

<相談状況等> 相談：毎月3回(第1・2・3火曜日)開催

※高瀬は毎月、その他の支所は3か月に1回

地区	相談件数	相談分類計※	主な相談内容
高瀬	46	50	保証人、養子、近所トラブル等
山本	14	49	財産(相続・遺言)
三野	15	17	人権・法律
豊中	14	15	結婚・離婚
詫間	15	14	家族
仁尾	19	9	住宅
財田	20	3	生計
計	143	3	事故

※相談分累計は、相談内容ごとに集計したため相談件数と一致しない。

③ 社協ふくし相談

令和2年度より新たな取り組みとして、三豊市社協職員が地域の身近な場所に向き、地域住民の相談内容を伺い、悩みごと等があれば解決方法を一緒に考え寄り

添う支援に努めた。その場で解決できない場合は必要に応じて関係機関へつなぐなど解決のお手伝いとなる場を設けた。

<相談状況等>

地区	相談件数	相談分類計※	主な相談内容		
高瀬	3	10	引きこもり相談、道路標識、災害対策、公民館活動、行事の相談等		
山本	9				
三野	0				
豊中	1				
詫間	2				
仁尾	2				
財田	0				
計	17			4	高齢者福祉
				3	ボランティア
				1	教育・青少年
		1	生計		
		1	障害福祉		
		1	健康・保健衛生		

※相談分累計は、相談内容ごとに集計したため相談件数と一致しない。

(4) 福祉バス管理運営事業 事業費 683,713円

地域福祉の推進を図るため、社会福祉を目的とする事業の実施及び社会福祉活動への住民参加に係る援助を目的に、新型コロナウイルス感染対策のため乗車定員を25人から12人に削減し福祉バスを運行した。

<月別運行状況>

利用登録団体:111団体

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用者数	0	0	0	0	0	0	12	73	0	0	0	0	85
運行回数	0	0	0	0	0	0	1	7	0	0	0	0	8

★福祉バス（平成17年1月登録：乗車定員25人）

(5) ボランティア活動推進事業 事業費 589,423円

リニューアルしたホームページ等を活用して広くボランティアの募集に取り組み、マッチングを実施するなど、人材確保を目的にボランティア相談やボランティアセンターの新規ボランティア登録を行った。また、市内の居場所づくりや活動が積極的に行われていることから、居場所づくりボランティア向けのフォローアップ講座を開催し、活動者同士の顔合わせや情報交換の機会を設けた。

<ボランティアセンターマッチング状況>

依頼先	内容	参加人数・団体数
かがわ総合リハビリテーション	たのしくレクリエーション‘フォトウォーク’	3名
	たのしくレクリエーション‘木にふれる・しる・つくるワークショップ’	2名
NPO 法人はあと	レクリエーション	2団体

<ボランティア活動保険加入状況>

※（ ）内は前年度末

保険の種類	加入団体数・件数	加入人数
ボランティア活動保険	83 団体 (92)	1,789 (2,049)
	個人加入	30 (20)
行食用保険	20 件 (36)	1,427 (5,779)

<ボランティア養成講座実施状況>

開催日・開催場所	内容	参加人数
令和2年11月22日 三豊市役所豊中庁舎	三豊市居場所づくりボランティア向け フォローアップ講座	6

(6) 団体助成事業 事業費 134,140円

小さな親切運動高瀬支部・山本支部に助成を行い、子どもたちの健全育成、あいさつ運動、環境美化活動等を支援した。

(7) 認知症サポーター養成講座事業 (三豊市受託事業) 事業費 140,838円

地域で認知症についての正しい理解や接し方について知識を深める取り組みとして、認知症サポーター養成講座事業を開催した。

コロナ禍の対応として、地域のキャラバンメイトは最小人数で対応した。

小学校では認知症に係る寸劇に児童や担任の先生も参加をお願いすることで、より認知症の理解を深めることができた。市主催のキャラバンメイトの会にも参加し、来年度に向けた市の基本マニュアル作成に向けての意見交換会を実施した。

<養成講座>

開催日	受講先	受講人数 (サポーター数)
令和2年 8月 6日	詫間地区民生委員・児童委員	36
8月 17日	高瀬地区民生委員・児童委員	30
9月 10日	松崎地区社会福祉協議会	15
9月 30日	三豊市在住の方 (市地域包括主催)	4
10月 8日	大見小学校5年生	22
10月 28日	勝間小学校5年生	23
11月 4日	上高野地域福祉委員会	23
11月 13日	食生活改善推進協議会 (比地)	16
12月 5日	笠田地区社協・笠田松寿会	33
12月 8日	財田小学校5年生	29
12月 11日	山本小学校5年1組	29
12月 11日	山本小学校5年2組	29
12月 18日	上高瀬小学校6年1組	20
12月 18日	上高瀬小学校6年2組	19
令和3年 2月 8日	比地大小学校5年生	13
2月 9日	脳きらり教室 (高瀬)	25

2月 10日	脳きらり教室（詫間）	19
2月 15日	脳きらり教室（三野）	11
2月 15日	笠田小学校 6年生	18
2月 16日	吉津小学校 5年生	21
2月 19日	脳きらり教室（財田）	10
2月 22日	本山小学校 5年生	24
・団体、グループ：11回（7団体）・小学校：11回（9校）		合計 469

（８）障害児長期休暇中預り事業（三豊市受託事業） 事業費 1,575円

新型コロナウイルス感染症拡大防止により、障がいのある子どもの預かりサービス（通称：みとよきらっと☆くらぶ）の開催は中止した。

<新型コロナウイルス感染症の影響による事業実施可否についての協議等>

日付	内容	出席者等
令和2年 5月11日	社協内部協議	三豊市社協 4名
5月14日	三豊市福祉課と協議	三豊市福祉課 2名、三豊市社協 4名
5月19日	自立支援協議会運営会議 （中止）	観音寺市福祉課、観音寺市社協 三豊市福祉課、結、ありあけ、 三豊市社協 （出席予定団体）
7月20日	中止決定と来年度の協力 依頼をハガキにより関係 者に周知した。	運営ボランティア等

（９）自発的活動支援事業（三豊市受託事業） 事業費 35,911円

障がいのある人が自立した生活を営むことができるよう、当事者やその家族、地域住民等による地域における自発的な取り組みを支援し、共生社会の実現を図ることを目的に開催した。

また、この研修会は、ボランティア養成をはじめ、障害児長期休暇中預り事業（みとよきらっと☆くらぶ）に参加したボランティアに対するフォローアップ研修も兼ねており、みとよきらっと☆くらぶの開催は中止となったが、今後、地域での当事者支援を充実させていくためにも、関係機関や地域のボランティアが集い、共に学び合う機会にもなった。

<研修会>

開催日・開催場所	テーマ・講師	参加人数
令和3年3月10日 三豊市市民交流センター	テーマ：「障害者が住み慣れた地域で暮らせるために必要なこと」 講師：特定非営利活動法人 三観まちづくりカンパニー『Hata くらす』所長 大西 潤 氏	37

(10) 生活支援体制整備事業 (三豊市受託事業) 事業費 3,699,262円

介護予防・日常生活支援総合事業の円滑な実施のため、高齢者の困りごとを解決していくことや、子ども、障がいのある人も含め福祉制度の分野にかかわらず支援を必要とする全ての住民がより暮らしやすい地域の支え合いのしくみづくりを推進していくことを目的に実施した。また、この事業について職員間で共通認識を持つため、定期的に地区担当職員（第2層生活支援コーディネーター）間で協議を重ね、中学校区に計6地区の第2層協議体が発足した。

コロナ禍において活動自粛しているサロン等の実態把握をするためにアンケート調査を実施すると共に、サロン活動等における新型コロナウイルス感染症予防についての留意事項等を周知した。

①資源開発

新型コロナウイルス感染症拡大防止により介護予防ボランティア養成講座は中止したが、介護予防ボランティアフォローアップ講座は実施し、地域の担い手への学習・社会参加の機会を設けた。

<介護予防ボランティアフォローアップ講座>

開催日・開催場所	内 容	受講人数
令和3年2月18日 豊中庁舎	テーマ：「地域で生きる」 講師：一般社団法人キラメキ社会福祉士事務所 社会福祉士・認知症予防専門士 上田利枝 氏	20

<新型コロナウイルス対応に関する緊急アンケート調査> 対象:市内での活動団体等

項 目	高瀬	山本	三野	豊中	詫間	仁尾	財田	不明	合 計
配布数	41	18	10	46	20	17	6		158
回収数	36	15	10	42	16	15	6	3	143

②ネットワークづくり

地域社会のあり方に関心をもつ各地域の住民等による情報共有・話し合いの体制づくりを進めた。

各地区に配置されている地区担当職員（第2層生活支援コーディネーター）が定期的に集まり情報共有や地区ごとの進め方等について協議を重ねた。

<第2層協議体>

地区・協議体名称	開催日	参加人数
高瀬地区協議体「朝日の会」	令和2年11月18日	7
	12月23日	7
	令和3年2月17日	6
	3月17日	5
山本地区協議体「どんぐりの会」	令和2年9月30日	8
	10月26日	12
	11月30日	12

	12月21日	8
	令和3年 1月29日	9
	2月22日	6
	3月29日	6
三野地区協議体「福祉のまちづくり会みの」	令和2年 9月28日	6
	12月14日	4
	令和3年 2月24日	5
豊中地区協議体「とよなかタイム」	令和2年 9月28日	22
	10月19日	18
	令和3年 1月18日	18
	3月22日	15
詫間地区協議体	令和2年 6月29日	10
	7月22日	6
	8月26日	7
	9月30日	7
	10月28日	7
	11月25日	7
	12月23日	6
	令和3年 1月27日	7
	2月24日	7
	3月31日	7
財田地区協議体「もっこくの会」	令和2年 9月8日	9
	10月13日	9
	11月24日	8
	12月22日	9
	令和3年 1月26日	9
	2月24日	7
	3月2日	9

<地区担当者会>

開催日	参加人数	開催日	参加人数
令和2年5月20日	8	10月27日	11
6月18日	11	11月17日	12
7月29日	10	12月24日	9
8月18日	11	令和3年1月7日	9
9月23日	13	2月17日	11

(11) 三豊市こどもの居場所づくり事業（三豊市受託事業）

事業費 1,891,750円

市内のこども食堂やそのほか、こどもの居場所づくりに関わる団体等とのネットワークを構築し、横のつながりによる活動の広がりや情報共有を深めるためネットワーク会議を実施した。また、継続的な事業となるよう、随時相談・支援活動の実施、こども食堂等の活動に必要な食材の提供や情報の共有を図るとともに、助成金の交付を行った。

<事業内容>

①こどもの居場所づくりに関わる団体への相談・支援活動内容		活動件数		
相談・支援活動の状況	相談・支援窓口の設置	92件 ※相談件数		
	こどもの居場所づくり専用ホームページの運営（R2.9.29公開）	—		
	食材、物品提供の分配	85件		
	運営会員、応援会員の登録	12件		
	子育て世代包括支援センター等関係機関との連携	51件		
	合 計	240件		
	助成金交付実績 3団体	合計 170,000円		
②ネットワーク会議の会員向け勉強会（交流会）の開催				
開催状況	ネットワーク会議	開催日	開催場所	参加者数
	三豊市こどもの居場所づくりネットワーク会議	8月25日	市民交流センター	5名
		11月22日	豊中庁舎	5名
		2月18日		8名
③農業生産者、小売り業者等提供活動者との連携				
連携状況	提供活動者との連携	実施日	提供内容	対象
	寄付金提供者（個人）	1月～毎月	寄付金	4団体
	民生委員・児童委員	8月～	ボランティア協力	1団体
	個人	1月～	食材提供	1団体
	ハローズ観音寺店	3月～		3団体
登録会員数 (令和3年3月末)	運 営 会 員	9人（団体）		合計 12人 (団体)
	応 援 会 員	3人（団体）		

④子育て世代包括支援センター等関係機関との連携		活動件数
活動実績	子育て支援課（子育て世代包括支援センター等）	20 件
	香川県社会福祉協議会	25 件
	その他	6 件
	合 計	51 件
⑤その他		
情報提供	発行物：広報紙（社協しちふく）	
	ホームページへの掲載（社協内専用ホームページ、全国こども食堂支援センター・むすびえ）、ダイレクトメールの作成	

(12) 福祉介護共同送迎実証事業 事業費 4,871,072円

三豊市・ダイハツ工業(株)・三豊市社協が連携し、各介護施設が単独で行う送迎業務を集約した共同送迎の実証を行い、送迎業務の効率化や業務負担の軽減、利用者のサービス満足度向上への貢献度などの評価分析に取り組んだ。

さらに、買物・通院お出かけサービスを試行し、新たな事業展開の可能性を検討した。

<概要>

実証期間：令和2年11月1日～11月30日（日曜日を除く）

買物・通院お出かけサービスは、11月16日～11月30日（月・水・金）

参加施設：4法人5施設（山本地域・財田地域）

参加人数：登録74人、日々25人前後、累積乗車人数1,040人

買物・通院お出かけサービス7人

使用車両：5台（予備1台含む）

運営体制：運転スタッフ11名、運営スタッフ2人

<事業評価>

○実証期間中は、事故・ケガ等も発生せず、概ね計画どおり運行することができた。

○利用者の満足度もアンケート結果から、「良」の比率は1週目79%⇒2週目89%
3週目98%⇒4週目98%の評価を得た。

○運行計画も想定どおり実施できた。

○運転スタッフの介護研修等の期間が限られ、研修不足により一部の利用者から不満の声も聞かれたが、送迎を重ねるたびに改善することができた。介護実習、走行ルートの試走など研修に必要な課題を明確にすることができた。

3. 共同募金配分事業 事業費 13,475,963円

(1) 福祉まつり開催事業 事業費 0円

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

(2) 福祉教育推進事業 事業費 1,932,598円

① 福祉普及推進校（園）指定事業

三豊市内の小学校児童及び中学校生徒や幼稚園児を対象に、社会福祉への理解と関心を高め、「思いやり」「やさしさ」を養うとともに、地域と連携した福祉教育の推進を目指すことを目的とする取り組みに対し、要綱に基づき助成金を交付した。

<助成状況>

区分	実施数	助成額(円)	主な事業内容
幼稚園	15園	450,000	各種団体との交流（餅つき大会、芋ほり他）、地域の方々や未就学児へプレゼント等
小学校	18校	830,000	保幼小連携活動、高齢者福祉施設訪問（プレゼント持参のみ他）、草刈ボランティア等
中学校	5校	210,000	施設訪問（プランター、マスク寄贈他）、入場者を限定したミニコンサート等
合計	15園 23校	1,490,000	上限額：園 30,000円/小・中 50,000円

② 夏のチャレンジボランティア講座 2020

（対象：三観地区 5高校・市内 7中学校の生徒）

三観の高校生及び市内中学生を対象とした夏休み期間中のボランティア体験は、新型コロナウイルス感染拡大防止及び学生の夏休み期間短縮のために中止としたが、個別相談があった場合には受け入れが出来るよう、各ボランティア団体と連携を図り、参加の機会を確保した。

<ボランティア受け入れ先>

	コース名	協力団体
1	読み聞かせボランティア	おはなしの会たかせ
2	音声訳ボランティア	みとよ音声訳の会「ぼかぼか」
3	点字訳ボランティア	点訳サークルアイ・みとよ
4	お楽しみ会ボランティア	豊中町愛育会
5	豊中読み聞かせボランティア	お話ボランティア夢ふうせん
6	子どもが主役の夏まつりボランティア	たくまこども食堂はびねすカフェ
7	こすもす広場ボランティア	こすもす広場
8	フォトウォークボランティア	かがわ総合リハビリテーションセンター
合計（8コース）		

③ 福祉体験学習への支援（対象：市内小学校の主に5・6年生、中学生）

子どもたちへの福祉教育の一環として、市内の小学校5・6年生に加え、体験希望により小学校3年生を対象に福祉体験を実施した。上半期はコロナ禍で体験学習を見送る学校が多く、下半期に体験が集中した。実施の際には、担当教員と事前打合せを行い、コロナ感染予防対策、体験を通してのねらい、授業の進め方を確認するとともに、体験後の福祉活動等についてのアドバイスをを行った。また、体験学習後に希望のあった学校には高齢者疑似体験セット等の貸出も行い、さらに理解を深めることができた。

<体験内容>

体験内容	学校名	延回数	延人数
高齢者等疑似体験	大見、比地、仁尾2回、財田2回、山本2回、上高瀬2回、比地大、笠田、本山、吉津	14	288
車イス体験	大見、比地、勝間、仁尾2回、財田、山本2回、本山、上高野	10	225
視覚障がい体験 (アイマスク体験含む)	山本2回、本山、上高野	4	90
認知症ポスター養成講座	大見、勝間、比地、財田、山本2回、上高瀬2回、比地大、笠田、本山、吉津、上高野	13	274
合 計		41	877

※バリアフリーやユニバーサルデザインについての話を各体験の中で実施した。

(3) サロン活動推進事業 事業費 3,263,035円

ふれあい・いきいきサロン活動は、高齢者だけでなく、障がいのある人や子育て中の保護者、閉じこもり孤立しがちな人たちが、ボランティアである住民と共に地域の中で、いきいきと元気に生活できるつながりをもつ場（ふれあい・いきいきサロン）に対して助成金を交付し、活動を支援した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、時間短縮や内容を会食以外にするなど、工夫しながら新たな形で取り組んだサロンが多く、随時開催等について相談対応を行った。

<高齢者サロン>

地区名	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
高瀬	38	△2	774	7,651	728,000
山本	17	△1	153	1,486	246,000
三野	8	△1	75	622	148,000
豊中	43	0	373	4,572	782,000
詫間	16	△4	251	2,594	346,000
仁尾	17	1	101	1,438	307,000
財田	5	0	61	456	85,000
計	144	△7	1,788	18,819	2,642,000

<子育てサロン>

地区名	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
豊中	2	0	89	1,162	80,000

<障害者サロン>

地区名	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
山本	1	△1	17	168	40,000

<毎日型サロン>

地区名	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
三野	1	0	133	4538	100,000
豊中	1	0	229	1204	100,000
財田	1	0	16	311	100,000

<サロン活動推進者研修会の開催状況>

地区名	内容
高瀬	令和2年11月25日 みとよ未来創造館 「～渡る世間はトラブルばかり～ 消費者被害を防止するための法律講座」 講師：三豊市社協職員 参加者：45人／参加サロン数 38サロン
山本	令和3年3月11日 山本町保健センター 「ゼッコー腸のための5つの習慣」 講師：香川ヤクルト販売 管理栄養士 長尾 志津代 氏 参加者：17サロン×1人=17人に案内
三野	令和2年11月24日 三野町生涯学習センター 「高齢者向けの折り紙教室」 講師：さぬき折り紙会 認定講師 菅慧子氏 参加者：17人／参加サロン数 8サロン
豊中	令和3年3月17日 三豊市市民交流センター 「ウン知育教室」 講師：ヤクルト販売(株) 参加者：51人／参加サロン数 35サロン
詫間	令和2年7月9日 詫間町福祉センター コロナ禍でのサロン活動についての周知と説明 サロン推進者意見交換会 参加者：20サロン／20名(助成未申請団体含む)
仁尾	【第1回】 令和2年12月9日 市民センター仁尾 来年の干支(丑)の張り子の置物作成、サロン貸出用備品説明 講師：田井民芸 田井艶子氏 参加者：17サロン／17人 【第2回】 令和3年3月10日 市民センター仁尾 認知症サポーター養成講座 講師：地域包括支援センター 参加者：17サロン／50人
財田	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止。

(4) 広報啓発事業 事業費 2,608,543円

社会福祉事業等への理解を深めるとともに福祉活動の啓発や、サロン活動等の地域福祉活動など福祉の情報発信を目的に広報紙を年4回発行した。

また、ホームページの大幅リニューアルに取り組み、タイムリーな情報発信、新着情報、スケジュール等の内容を随時更新し、正確な情報提供に努めた。さらにファミリー・サポート・センター、ボランティアセンター、三豊市こどもの居場所づくり事業のサイトを設けて、それぞれの関連情報の提供等を行った。

毎号に掲載している、七福通信(各地区の情報)、各種相談日程、キラリ人☆見つけた(ボランティア団体・個人紹介)、サロンへようこそ(地域のサロン活動の紹介)等を身近な情報として発信している。

<「しちふく」の発行状況>

発行月	ページ数	主な内容
令和2年 4月	16	三豊市生活支援体制整備事業、ふれあいいきいきサロン助成金案内、ボランティア保険案内、赤い羽根共同募金関連 他
7月	12	令和元年度事業報告・決算、令和2年度事業計画・予算、まるみちゃん安心キット(緊急情報キット)、こんにちはコール、地域活動応援事業、福祉まつり・きらっと☆くらぶ(中止) 他
10月	12	新会長就任あいさつ、赤い羽根共同募金のお知らせ、三豊市こどもの居場所づくり活動助成金案内 他
令和3年 1月	12	社会福祉大会報告、ファミリー写真コンテスト、ふくし川柳、みとよファミリー・サポート・センターまかせて会員養成講座案内、ホームページのリニューアルのお知らせ 他

(5) 社会福祉大会開催事業 事業費 112,857円

令和2年11月14日に、みとよ未来創造館にて開催予定の「第15回三豊市社会福祉大会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため式典・講演会等を中止した。なお、多年にわたり社会福祉の発展に貢献されている方々をはじめ、三豊市社協に心温まるご寄附をいただきました個人・団体の皆さまには、感謝の意を込めて表彰状並びに感謝状を贈呈した。

令和2年7月7日 令和2年度会長表彰候補者の推薦について(依頼)
・各種団体へ推薦依頼

令和2年9月24日 第15回三豊市社会福祉大会実行委員会開催
・受賞者の選考について・大会開催について

<受賞者>

表彰状		感謝状	
民生委員・児童委員功労	1人	社会福祉事業協助者	28人
社会福祉事業奉仕者	8人	社会福祉事業協助団体	11団体
自立更生努力者	2人		

(6) 災害対策推進事業 事業費 1,330,835円

①訓練及び研修

休日・夜間、勤務を要しない日等勤務時間外の緊急連絡手段のツールとして、インターネット回線を使った安否確認システムを活用するために、職員全員で運用方法や入力操作の確認、課題の検証を行ったほか、無線機の操作手順や通信状況の確認を行った。また、三野町下高瀬地区で行われた、感染症発生時の避難所設営と運営を主課題とした防災訓練に参加し、福祉的課題を抱える方の避難受付を担当した。

<訓練状況>

開催日	内容	参加人数
令和2年 7月6日	三豊市社協災害時職員安否確認システム訓練 場所：三豊市社協各支所等 内容：グーグルフォームを利用した安否確認システムから、登録済の各職員メールアドレスへ安否確認の回答フォームを一斉配信し、現在の状況を返信することで職員の状況把握を行う。	47
10月26日	みの防災フェスタ2020への参加協力 場所：三豊市立下高瀬小学校 内容：①避難受付 ②「避難所運営について」講義 ③避難所設営訓練	3
12月28日	無線機訓練 場所：三豊市社協各支所等 内容：無線機の使用方法及び通信状況の確認	8

<研修会等の出席>

開催日	会議名	開催場所
令和2年5月18日	県内社協災害対応に係る担当者会	オンライン会議
10月12日	2020年7月豪雨中間報告会	オンライン会議
11月9日 11月10日	災害ボランティアセンター運営者養成研修	香川県社会福祉総合センター
令和3年1月22日	八代市災害ボランティアセンター支援報告(三観合同)	三豊市山本庁舎
3月23日	コロナ禍における災害ボランティアセンター運営研修会(三観合同)	オンライン会議

②その他

災害時に使用する資機材の整備をはじめ、広域災害が発災した場合、センター業務では近隣社協からの応援職員を含めた運営が想定されることから、毎年同じ圏域である三豊・観音寺市両社協での合同訓練を企画・実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、全職員が集合しての実地訓練は中止した。

なお、感染対策の内容を踏まえた、災害ボランティアセンター運営マニュアルや様式の見直しと作成を行った。

また、災害発生時には、関係機関との連携が求められることから、役割分担の確認や顔の見える関係づくりを目的に、行政と協定締結や合同訓練に向け協議を行った。

開催日	内容	参加者
令和2年12月15日	ボランティア活動と被災自治体の実施する救助と調整に係る事務に関する委託契約について協議	三豊市危機管理課 三豊市福祉課 三豊市社協
12月22日 12月25日 令和3年1月12日 2月5日 2月24日	三観合同災害ボランティアセンター運営マニュアル及び様式の見直し・作成	観音寺市社協 三豊市社協
3月23日	令和3年度災害ボランティアに関する三者連携訓練について協議	香川県政策部 男女参画・県民活動課 三豊市危機管理課 三豊市社協

(7) まるみプラン推進事業 事業費 1,630,355円

① 第3期三豊市地域福祉活動計画（まるみプラン）の推進

第3期計画を実践するため、各地区（7町）の地域福祉活動計画（まるみプラン）実行委員会や地区社協等が主体となり、コロナ禍での活動の見直し、工夫の具体的な協議を行いながら事業を実施した。

基本目標1の“ひとづくり”では、小地域活動の取り組み促進のため、地域活動応援事業の活用により、新たな社会資源の開発と担い手づくりを進めた。

基本目標2の“しくみづくり”では、相談窓口の見直し・検討を行い、社協ふくし相談として新たな相談場所の設置を行った。また、担い手同士のネットワークづくりとして市と連携し、こどもの居場所づくりに係るネットワーク会議等を行った。

基本目標3の“きずなづくり”では、昨年度に引き続き有事の際に備えた取り組みとして観音寺市社協と共にコロナ禍における災害ボランティアセンター運営について協議を行った。

また、コロナ禍において多くの活動が自粛や縮小されるなか、出来ることを模索し、各地区の実行委員や関係者らと協議を重ねるとともに、学校、三豊市、各種団体等との連携・協働により地域福祉活動に取り組んだ。

<地区実行委員会等の開催・運営>

地区名	委員人数	運営形体	開催数	実施事業
高瀬	開催事業に 応じてボラ ンティアス タッフ募集	(プラッ トフォー ムとし て) まる みプロジ ェクト	会議 2 事業 1	地区社協を中心とした「まるみプロジェクト」として計画実施。全体会や各打ち合わせ会を経て、参加者、地域のボランティア等との交流の支援を行った。また、新型コロナウイルス感染対策をとりながら「たかせ健康ウォーキング」を実施した。 会議・事業で参加者延 120 人参加。
山本	19	全体会 地区社協 会長会・ 正副委員 長会等	2 4	「宝山湖公園ウォーキング」開催。 「お花見ウォーキング」開催。長寿会 行事への協賛、元気会交流会への参 加。
三野	14	全体会	4	「ゴミ持ち帰り運動」の推進。 「子育て10カ条」の各戸配布（啓発） 「みのふるさと再発見ウォーキング」 開催。
豊中	26	全体会 リーダー会 集いの場 検討部会	5 5 1	新型コロナウイルス感染症拡大防止 対策により、例年の芋炊きウォーキン グに変えて「豊中まるみウォーキン グ」を開催（参加者131人）した。新 型コロナウイルス対策をとりながら3

				コースとも 30 人までと人数制限を行い、笠田高校のボランティア 5 人も参加した。
詫間	10	全体会等 事業	会議 4 事業 1	新型コロナウイルス感染症拡大防止により「たくま健康福祉まつり」を中止した。8 月に会議を開き代替事業の検討を行い、新しい生活様式に基づいて 3 密を避けた『たくま分散ウォーキング』を開催した。当日は詫間町の主要か所（松崎・詫間・大浜・箱浦）に分散して一斉に開催。各自が好きな会場で開催時間内に自由なコースを設定し、ウォーキングを行った。粟島・志々島は同日に独自の方法で実施。参加者はスタッフ含めて 323 名。ウォーキングのきっかけ作り、自分の住んでいる町の再発見や住んでいる町以外を知る機会になった等の効果があった。
仁尾	16	事業	2	つた島クリーン作戦、防災訓練、三世代交流ペタンク大会、男性料理教室等の主要事業は、コロナ禍により中止した。 三世代交流ペタンク会場環境整備、福祉ポスター募集・掲示(仁尾地区社協共催事業)、見守り活動支援(仁尾地区社協共催事業)
財田	27	全体会 打合せ会 事業	2 3 2	大規模災害講演を開催し、防災意識を高めた。また、同時に地域の困りごとを把握するため、生活についてのアンケートを実施した。 地区社協を中心とした「パフォーマンスシアター（腹話術・大道芸）」は屋内での開催であることから中止し、「宝山湖ウォーキング」のみ開催した。

② 地域福祉活動に対する助成金交付

- ・各地区地域福祉活動計画経費として、共同募金助成事業より経費を充当した。
- ・各地区とも 150,000 円の助成金を原資に地域での活動を実施した。

(8) 地域我が事・丸ごと推進事業 事業費 2,597,740円

我が事・丸ごとの地域づくりは、地域共生社会の実現に向けて、総合的に取り組むべきこととされており、この支援体制づくりに努めることで、制度・分野ごとの縦割りの関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が我が事として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて丸ごとつながることで、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに作っていく社会の一助となるよう取り組んだ。

昨年度に引き続き、小地域を基盤とした、住民の参加と協力により、安心して暮らせる地域づくりを目的に活動する事業や、援護が必要な方々の生活の見守り等を目的とする事業を実施する団体・グループに対し助成金を交付し、活動を支援した。

また、中央共同募金会より「フードバンク活動等応援助成」の助成を受け、困窮世帯への支援に活用するための保冷庫及び精米機を整備した。

① 地域活動応援事業（小地域活動に対する助成金交付）

＜交付状況：8団体9事業＞

(単位:円)

活動地域	活動内容	件数	助成金額
高瀬	こども食堂	1	300,000
		1	50,000
山本	居場所づくり	1	50,000
		1	76,000
三野	配食サービス	1	50,000
	つなぎ個別支援	1	20,000
詫間	居場所づくり	1	300,000
	居場所づくり・学習支援	1	50,000
財田	居場所づくり	1	300,000
計		9	1,196,000

② 見守り活動助成事業（高齢者声かけ見守り活動に対する助成金交付）

＜交付状況：6団体＞

(単位:円)

活動地域	対象者数	助成金額
高瀬	22	44,000
	18	41,000
山本	16	41,000

三野	26	34,000
豊中	18	34,000
詫間	122	50,000
計	222	244,000

4. 生活福祉資金貸付事業 (県社協受託事業) 事業費 8,332,912円

低所得・障がい・高齢者世帯に対し、資金の貸付と相談支援を行うことにより、世帯の経済的自立・生活意欲の助長促進・在宅福祉・社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的に、民生委員・児童委員、三豊市、県社協と連携し相談支援を行った。併せて、既借受人を対象とした債権の管理及び世帯の実態把握を行うため、県社協主催の相談会を年2回(8月・12月)実施予定していたが、コロナ禍で中止となった。なお、新型コロナウイルスで減収した世帯向けへの新たな特例となる貸付相談を行った。また、相談記録の共有と継続した情報管理を行うため、コロナ特例貸付に係る事務費により、クラウドを活用した相談支援システムを新たに導入した。

<相談・貸付状況>

(単位:件/円)

資金種別	相談件数	貸付件数	県社協貸付金額
コロナ特例貸付(総合)	233	105	51,100,000
福祉資金(福祉費)	5	1	450,000
福祉資金(緊急小口)	34	10	490,000
コロナ特例貸付(緊急小口)	331	216	40,240,000
教育支援資金	6	0	0
臨時特例つなぎ資金	3	0	0
その他	32	0	0
計	644	332	92,280,000

5. 福祉サービス利用援助事業 (日常生活自立支援事業) (県社協受託事業)

事業費 11,449,674円

高齢や障がいにより判断能力が不十分で、日常生活を送るうえで必要なサービスを実施した。利用するための情報を入手したり、理解したり、判断したり、意思表示を自分だけでは適切に行うことが困難な方に対し、地域において自立した生活を送れるよう、必要な手続きの援助、公共料金の支払いや年金の受領確認、生活費の払戻などの日常的なお金の管理、通帳や年金証書などの書類の預かり等を本人との契約により、専門員3人と生活支援員登録6人が利用者に対し、支援を行った。

<相談・援助件数>

内容 対象者 事項	本事業の利用に関するもの・その他				合計
	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	
a. 問合せ件数 (制度、事業について)	1	0	0	2	3
b. 初回相談件数 (初回相談受付)	9	0	2	4	15
c. 相談援助件数 (a・b 以外)	958	1,035	1,405	444	3,842
合計	968	1,035	1,407	450	3,860

<利用者の状況>

(単位:人)

対象者	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合計
新規契約者	4	2	3	3	12
契約終了者	2	2	1	1	6
令和2年度末利用者	11	12	13	5	41

(内:生活保護受給者8人)

① 専門員・生活支援員の活動について

専門員3人と生活支援員登録12人のうち6人が利用者に対し、訪問を行った。

<関係機関との会議等>

開催日	会議名	開催場所
令和2年 4月30日 令和3年 1月22日 2月24日	生活福祉資金貸付事業・日常生活自立支援事業・生活困窮者自立支援事業等担当者定例会	香川県社会福祉総合センター
令和2年 6月11日	契約締結審査会	香川県社会福祉総合センター
10月27日	三観地域自立支援協議会	三豊市役所

<研修会>

開催日	内容等	開催場所
令和3年 3月8日	生活支援員研修会	丸亀市保健福祉センター
3月(随時)	専門員実践力強化研修をインターネットによる動画配信でオンライン受講した。	三豊市社協

6. 法人成年後見等事業

事業費 10,601,270円

(1) 法人成年後見等事業

事業費 10,186,383円

認知症高齢者、知的障がいのある人及び精神障がいのある人など判断能力が不十分な方に対し、裁判所より選任を受け、本人の判断能力や生活の実情に応じた身上監護及び財産管理を行った。ケースの内容によっては、弁護士と複数での受任を行っている。

なお、後見報酬（手数料）は裁判所が決定する。

<受任状況>

※年度末：受任件数 12 件

類型	成年後見	保佐	補助	合計	終了
令和元年度までの件数	7	6	1	14	5
令和2年度の件数	0	1	0	1	0
令和2年度末利用件数	4	7	1	12	

<利用者の年代別>

年齢	90才代	80才代	70才代	60才代	50才代	40才代
人数	1	4	2	3	1	1

(生活保護受給者なし)

①三豊市法人成年後見事業検討委員会の設置

適正な業務を担保するため受任適否の判断や、後見業務の指導等を受けることを目的に法人成年後見事業検討委員会を設置している。

<委員会構成>

選出区分	選出団体等
学識経験者	四国学院大学社会福祉学科教授 香川県福祉サービス運営適正化委員会委員長
三豊市社協 役職員	三豊市社協 監事
弁護士	香川県弁護士会
司法書士	リーガルサポート香川
社会福祉士	一般社団法人香川県社会福祉士会
行政機関関係者	三豊市福祉課
	三豊市介護保険課

<委員会>

開催日	内容	開催場所
令和2年6月12日	新規受任ケース（1件）について審議	三豊市役所
令和3年1月25日	新規受任ケース（1件）について審議	三豊市豊中庁舎
3月9日	法人後見受任ケースについての報告	

<関係機関の会議>

開催日	会議名	開催場所
令和2年8月19日	権利擁護関係事業担当者会	香川県社会福祉総合センター
10月23日	家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会	高松家庭裁判所 観音寺支部
11月9日 12月9日	権利擁護の取組に関する意見交換会	香川県社会福祉総合センター
12月8日	受任者調整会	三豊市役所
令和3年2月12日	三豊市成年後見制度利用促進審議会	
3月2日	権利擁護中核機関連絡会議	香川県社会福祉総合センター

<研修会等>

開催日	内容等	開催場所
令和2年9月(随時)	成年後見制度利用促進体制整備研修 基礎研修2日間 (オンライン研修)	
9月17日	成年後見制度利用促進研修会	高松商工会議所
10月～11月	成年後見制度利用促進体制整備研修 (オンライン研修)	
11月～12月	成年後見制度利用促進体制整備研修 応用研修3日間 (オンライン研修)	
12月7日	終活と成年後見 (オンライン研修)	
令和3年2月10日	後見人等への意思決定支援研修 (オンライン研修)	

②NPO法人後見ネットかがわへの協力

平成30年度より、同法人の活動目的に賛同し、地域の高齢者や障がいのある人・未成年者等の権利擁護推進のため、同法人の受任する後見人等（監督人を含む）の支援を行っている。

(2) 市民後見人養成支援事業 (三豊市受託事業) 事業費 414,887円

認知症になっても、障がいがあっても、住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくりを目指し、判断能力が不十分な方の権利を守るための「成年後見制度」を啓発するとともに、その担い手として、地域で暮らす同じ市民の目線から地域福祉に貢献する「市民後見人」を養成し、適切に活動できるように支援を行うことを目的に実施した。新型コロナウイルス感染対策のため、講義にはDVD（録画）も活用した。

受講修了後に三豊市より修了証書を授与し、受講者全員が市民後見人候補者（日常生活自立支援事業生活支援員・法人後見支援員）として登録した。

<市民後見人養成講座カリキュラム> 受講者数 10 名

開催日	講座項目	時間 (分)
令和2年11月6日	オリエンテーション・開会	20
	「成年後見制度の基本理念と概要」	120
11月10日	「後見人の業務について①」～身上監護～	60
	「後見人の業務について②」～財産管理～	60
	参加者交流	60
11月13日	「対象者と社会資源の理解①」～認知症～	50
	「対象者と社会資源の理解②」～知的障害～	50
	「対象者と社会資源の理解③」～精神障害～	50
11月18日	実際の活動報告 (市民後見人)	60
	ここまでの振り返り・日常生活自立支援事業	120
11月20日	「後見業務の法律基礎知識」～家族法、財産法～	120
11月24日	「成年後見を取り巻く諸制度の基礎」～健康保険・年金制度	120
11月26日	申立手続き書類の作成	120
	財産目録の作成・収支予定の作成	120
11月30日	後見事務終了の手続き／死後事務	90
12月7日	年次報告書・報酬付与申立の事務	90
12月14日	介護保険高齢者施策への取組状況	60
	高齢者虐待防止法	30
12月16日	障害者施策への取組状況	60
	障害者虐待防止法	30
	生活保護制度について	40
12月21日	消費者被害について	60
	事務連絡	30
令和3年1月8日	フォローアップ①家庭裁判所の役割について	60
	フォローアップ②市民後見人の活動の実際	90
2月2日	フォローアップ③座談会	60
	市民後見人登録説明	30
1月～2月	【体験学習】後見人の後見業務同行訪問	
	【体験学習】日常生活自立支援事業同行訪問	
講座時間合計		1,860分

7. 生計困難者に対する相談支援事業 事業費 100,084円

香川おもいやりネットワーク事業は、社会福祉施設や民生委員・児童委員と三豊市社協が連携するネットワーク会議を2回開催し、情報交換や課題の共有を図るなど、支援を必要とする方に「地域全体で支援する仕組み」をつくり、「福祉でまちづくり」を目指し取り組んだ。

相談者11名(延べ39件)に対し、継続的相談とフードバンクや寄付物品等の活用により支援を行い、状況により生活福祉資金貸付制度や生活困窮者自立支援相談など、

必要な制度や支援に繋げた。

8. ファミリー・サポート・センター事業 (三豊市受託事業)

事業費 12,782,954円

(1) ファミリー・サポート・センター事業

事業費 11,470,527円

① 会員数及び活動件数

新型コロナウイルス感染症拡大防止により、小学校の臨時休校と併せ、援助活動もストップした。また、まかせて会員は高齢の方が多く、コロナ禍では重症化しやすいこともあり、活動自粛傾向になるなど援助活動の減少につながった。

学校生活がスタートした夏以降は、援助活動も増え、年間を通すと援助件数は前年度より増加となったが、各種講座の中止が続いたこともあり、会員は減少となった。

<会員数>

(単位:人)

会員種別	本年度	前年度	増減
提供(まかせて)会員	268	271	△3
依頼(おねがい)会員	713	722	△9
両方会員	44	43	1
計	1,025	1,036	△11

<活動実績>

(単位:件)

相互援助活動の取組内容	本年度件数	前年度件数
① 保育施設までの送迎	818	711
② 放課後児童クラブまでの送迎(317)、終了後の預かり(195)	512	488
③ 保育施設の保育開始前や保育終了後の子どもの預かり	332	283
④ 小学校までの送迎	97	14
⑤ 保護者等の外出の場合の援助	33	31
⑥ 保育所・学校等休み時の援助	26	58
⑦ 習い事等の送迎	450	434
⑧ その他	686	825
・母親(おねがい会員)宅での預かり・母親同伴の預かり	(145)	(462)
・保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	(4)	(4)
・保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	(14)	(0)
・保護者の病気時・習い事等の場合、保育所入所前の援助	(0)	(8)
・保護者自宅までの送迎	(518)	(345)
・その他急用の場合の援助	(5)	(6)
合計	2,954	2,844

② 会員に対して相互援助に必要な知識を付与する講習会の開催

(ア) 新型コロナウイルス感染症拡大防止により7月開催の「まかせて会員養成講座」を中止し、年1回の開催となった。専門知識の習得と、安心安全に子どもの預かりが行えるよう、5日間延べ24時間の講習となった。

<まかせて会員養成講座>

開催日	内 容	開催場所	受講人数
令和3年2月16日	①子育てをめぐる状況とファミサポ事業の説明 ②ファミサポのしくみ ③保育の心	豊中町保健センター	11
2月17日	④小児看護の基礎知識 ⑤子どもの発育と病気 ⑥発達障がいへの理解と家族の支援		14
2月26日	⑦子どもの栄養と食生活 ⑧子どもとのかかわり・乳幼児との遊び ⑨保護者とのコミュニケーション		14
3月2日	⑩子どもの世話・三豊市の母子保健事業 ⑪子どもとのかかわり・児童との遊び ⑫子どものケガ～予防・応急処置～ ⑬AEDと心肺蘇生法		13
3月3日	⑭子どもの虐待と子育て支援者の役割 ⑮子どもの発達とその課題		14

(イ) 会員のスキルアップや注意喚起のためフォローアップ講習会を開催した。送迎を中心に援助活動している会員向けに、高瀬自動車学校の協力のもと運転技術や交通事故防止のための講習を開催。また、家庭内での事故を防ぐために、危険予知能力の向上を目指し簡易KYT危険予測講座を実施した。

<フォローアップ講習会>

開催日	内容	開催場所	受講人数
令和2年9月28日	交通事故防止教室	高瀬自動車学校	14
令和3年3月21日	簡易KYT危険予測講座	豊中町保健センター	15

③ 会員相互の連携と親睦を図る交流会の開催

会員相互の連携と親睦を図るため、毎年、交流会を行っていたが、新型コロナウイルス感染症予防のため中止や小規模開催を余儀なくされた。

<交流会>

開催日	内容	開催場所	参加人数
令和2年12月4日	クリスマス会	三野町保健センター	22

④ 関係機関との連携強化

(ア) 地域子育て支援センター、つどいの広場等との情報交換を行い、よりよい支援になるよう連携強化を図った。

(イ) 県内の関連機関（県・他センター）との連携をとり、会員への対応の仕方や養成講座開催の情報交換を行った。また、県内ファミサポ連絡会に参加し（リモート開催含む）、コロナ禍においてのファミサポの援助活動や、今だからこそファミサポに求められていることなどを話し合い、今後の手立ての参考になった。

<県内ファミサポ連絡会>

開催日	内容	開催場所
令和2年8月21日	令和元年度実績報告・令和2年度行事計画案・感染症予防について	たかまつミライエ
12月18日	新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業実施状況について、コロナ禍での業務の工夫について	丸亀市保健福祉センター

(ウ) 全国アドバイザー交流会に参加し、コロナ禍においてファミサポをどのように運営しているか、また、感染症予防対策についてアドバイスや事例検討などを行い、今後の業務の参考になった。

リスクマネジメント実践セミナーでは、保険の専門家から自動車事故防止についてのアドバイスがあり、備えの大切さを実感する研修となった。

<全国アドバイザー研修会>

開催日	内容	開催場所
令和2年10月22日 23日	コロナ流行下におけるセンター運営の課題と取り組み、グループワーク、意見交換	オンライン

<リスクマネジメント実践セミナー>

開催日	内容	開催場所
令和2年12月11日	ファミリー・サポート・センター事業における自動車事故防止について	オンライン

⑤ 情報提供・広報活動

ファミサポ通信を年3回発行し、各施設等に配布して活動状況や会員数・イベント情報・地域の子育て関連などの情報提供を行った。広報「みとよ」・社協だより「しちふく」にも定期的に情報を掲載し地域への情報発信を行い、会員増強に努めた。

また、子育て世代に向け、スマートフォンで見やすくするなど、ホームページをリニューアルし、情報提供の輪を広げ、いつでも活動内容の情報を発信できるよう努めた。

発行物	ファミリー・サポート・センターチラシ、(広報「みとよ」、社協だより「しちふく」)、ファミサポ通信(年3回発行)、まかせて会員養成講座チラシ、子育てホームヘルプチラシ
-----	--

(2) 子育てホームヘルプ事業 事業費 1,312,427円

産前(2か月)・産後(6か月)期に子育てホームヘルパーを派遣して、育児または、家事の援助、相談を行うサービスを実施。事業の知名度が浸透してきており、6か月

を過ぎるとファミサポにつなぐ援助も定着してきている。

○ 登録会員数及び利用件数

<利用者・子育てホームヘルパー数>

登録会員数	利用者	12	(依頼人数 4)	人数計 64
	子育てホームヘルパー	52	(派遣人数 4)	

<活動件数>

活動実績	相互援助活動の取組内容		活動件数
		① 食事関係 (調理全般)	
	② 子どもの世話 (子守り・沐浴・沐浴介助・オムツ交換・授乳・寝かしつけ)		42
	③ 予防接種・健診・上の子の病院受診付添		1
	④ 掃除 (洗濯・風呂掃除・トイレ掃除)		2
	合 計		47

<子育てホームヘルパー・フォローアップ講習会>

開催日	内 容	開催場所	受講人数
令和3年3月21日	簡易 KYT 危険予測講習	豊中町保健センター	15

9. 居宅介護支援事業 事業費 45,096,849円

介護支援専門員 8 人(常勤換算 5.6 人)が、要介護状態にある高齢者 (介護予防等支援含む) に対し、適正な居宅介護支援を提供した。

① 要介護ケアプラン業務

○延人数 1,810 人 (前年度 1,730 人) 前年度対比 104.6%

プラン料 要介護 1、2 = 10,570 円

要介護 3~5 = 13,730 円

※特定事業所加算Ⅲ取得(1件につき 3,000 円加算)

<介護度別内訳>

(単位:人)

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
708	613	176	180	133	1,810

<月別ケアプラン作成件数>

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	146	149	153	150	151	150	160	156	156	150	146	143	1,810
内初回加算	4	4	7	4	4	4	11	3	4	2	8	2	57

② 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務 (三豊市受託事業)

要支援 1、2 及び事業対象者

○延人数 409 人(前年度 338 人) 前年度末対比 121.0%

受託金 1,625,511 円

プラン料 3,879 円/件・初回加算(新規) 3,000 円/件

<月別予防プラン作成件数>

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	29	29	30	33	32	35	33	34	33	41	40	40	409
内新規 対象者	0	3	1	1	0	2	0	0	1	1	1	0	10

③ 介護保険認定調査事業 (三豊市等受託事業)

介護保険法に定める要介護認定調査業務を受託し実施した。

(介護支援専門員資格者が従事)

○調査人数 176 人(前年度 542 人) 前年度対比 32.5%

受託金 597,375 円

調査料(市)在宅 = 3,500 円/件

施設 = 2,500 円/件

市外 = 2,975 円/件~4,000 円/件

<月別認定調査件数>

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市	15	15	9	13	12	11	13	9	18	14	21	20	170
市外	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	2	6

居宅介護支援事業所の資質向上を目指し、ケアマネ会議(事業所内)を週 1 回開催し、議題に基づき共有連携を図ったほか、市の実施する医療介護連携勉強会・介護サービス事業者協議会主催の介護研修に参加する等スキルを磨いた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定されていた研修は中止や回数を減らすなど参加人数を制限しての開催となった。

<介護支援専門員研修>

開催日	参加者	研修内容
令和 2 年 4 月	全員	ケアマネ会議(1. 8. 15. 22 日)
5 月	全員	ケアマネ会議(7. 13. 20. 27 日)
6 月 26 日	全員 1	ケアマネ会議(3. 10. 17. 24 日) 第 1 回介護支援専門員研修会「令和元年度集団指導内容の確認」
7 月 2 日 16 日	全員 1 2	ケアマネ会議(1. 8. 15. 29 日) 医療介護連携勉強会「新型コロナウイルスについて」 西讃主任介護支援専門員連絡勉強会「災害時の要介護高齢者支援の備えについて」

8月	全員	ケアマネ会議(5. 12. 19. 26日)
8月6日	1	医療介護連携勉強会「熱中症について」
11日	1	リスクマネジメント研修会
26日	1	介護支援専門員協議会研修「ウイズコロナ時代のサービス担当者会」(オンライン研修)
9月	全員	ケアマネ会議(2. 9. 16. 23. 30日)
9月3日		医療介護連携勉強会(中止)
10月	全員	ケアマネ会議(7. 14. 21. 28日)
10月1日	1	医療介護連携勉強会「ターミナル期の支援について」
14日	2	第1回主任介護支援専門員連絡会
14日	2	他法人事業所との事例検討会
25日	1	老年期うつ病研修会(オンライン研修)
11月	全員	ケアマネ会議(4. 11. 18. 25日)
11月5日	1	医療介護連携勉強会「ACPについて パートI」
24日	2	第2回介護支援専門員研修会「低栄養について」
12月	全員	ケアマネ会議(2. 9. 16. 23日)
12月3日	1	医療介護連携勉強会「薬局との連携について知ろう」
令和3年		
1月	全員	ケアマネ会議(6. 13. 20. 27日)
1月7日		医療介護連携勉強会(中止)
15日		西讃主任介護支援専門員連絡勉強会(中止)
19日	1	県社協アドバンス・ケア・プランニング研修(オンライン研修)
	全員	職員研修 交通安全セミナー(オンライン研修)
2月	全員	ケアマネ会議(3. 10. 17. 24日)
2月4日	1	医療介護連携勉強会「意思決定支援について考えよう」
12日	2	第3回介護支援専門員研修会「高齢者の口腔について」「三豊市避難行動要支援者への支援について」
3月	全員	ケアマネ会議(3. 10. 17. 24. 31日)
3月4日	1	医療介護連携勉強会「永康病院一般病棟におけるACPの実際」
12日	1	第2回主任介護支援専門員連絡会「三豊市医療介護連携支援センターについて」他
12日	1	苦情対応研修会(オンライン研修)

※その他、介護支援専門員更新研修(1名受講)、主任介護支援専門員研修(1名受講)

10. 訪問介護事業 事業費 42,551,879円

(1) 訪問介護事業 事業費 29,272,765円

介護福祉士または訪問介護員研修の修了者である職員または登録ヘルパーが、要介護状態にある高齢者に対し、介護保険法により適正に訪問介護を実施した。

介護保険・障害福祉サービスの事業所を管理者・サービス提供責任者の4人が、訪問計画・ヘルパー配置計画及びモニタリングを行い、利用者の生活機能の維持、向上を目指し支援を行った。

<介護度別利用人数>

(単位:人)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
29	16	4	2	1	52

<月別利用人数>

前年度末 865人 対前年比 85.0%

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
67	64	66	67	65	66	63	58	56	57	54	52	735

<月別利用延人数>

前年度末 10,933人 対前年比 95.2%

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
955	976	987	1,105	989	976	914	826	764	707	602	602	10,403

(2) 生活支援訪問事業 事業費 12,275,817円

三豊市の介護予防・日常生活支援事業の実施に伴い、介護予防・日常生活支援を、その心身状況や環境状況に応じた適切な訪問サービスを実施した。

<対象別人数>

(単位:人)

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
2	21	49	72

※予防サービス利用者は、訪問サービス(I)～(III)を選択できる。

訪問型独自サービスⅠ…週1回程度の利用 1,172/単位(1単位:10円)

訪問型独自サービスⅡ…週2回程度の利用 2,342/単位(1単位:10円)

訪問型独自サービスⅢ…週2回以上の利用 3,715/単位(1単位:10円)

(実績に伴う1回単位での収入)

<月別利用人数>

前年度末 653人 対前年比 117.6%

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
59	56	61	60	61	63	66	70	67	67	66	72	768

<月別利用延人数>

前年度末 3,979人 対前年比 123.1%

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
376	357	386	389	371	364	415	424	440	428	433	515	4,898

(3) その他訪問事業 事業費 1,003,297円

① 生活管理指導員派遣事業 (三豊市受託事業)

ひとり暮らし高齢者への訪問事業(原則、週1回1時間程度)は、日常生活(家事・対人関係等)への支援・指導を関係機関と緊密に連絡調整を行い、要介護状態の進行予防を実施した。

・受託事業収入 372,360円

<派遣回数等>

派遣回数	時間数(前年度末)	延利用者数	対前年比(時間数)
174回	174時間(161時間)	48人	108.1%

② 養育支援訪問事業 (三豊市受託事業)

乳幼児家庭全戸訪問事業において把握した訪問による養育支援が必要である家庭に対し、訪問サービスを実施し、養育に関する相談や必要な支援を行った。

三豊市から養育支援が必要な家庭の依頼は、1世帯(1か月間)となった。

<派遣回数等>

派遣回数	時間数(前年度末)	延利用者数	対前年比(時間数)
2回	2時間(10時間)	2人	20.0%

③ 支援サービス事業

介護保険事業外の訪問サービスを全額利用者負担で提供した。(対象者1名)

④ その他

訪問介護サービスの提供にあたり、担当のサービス提供責任者と訪問する登録ヘルパーとのカンファレンス(ケース検討)、また、サービス向上とヘルパーの資質向上を目指した定期的な会議の開催や、研修会に参加した。他の事業同様、対外的な研修は中止や回数を減らすなど参加人数を制限しての開催となった。

<訪問介護事業(障がい含む)における研修会及びカンファレンスの開催状況>

開催日	参加人数	研修内容	
令和2年	4月15日	12	ヘルパーミーティング(仁尾地区)「新体制・コロナ感染対策について」
	16日	18	ヘルパーミーティング(高瀬地区)「新体制・コロナ感染対策について」
			ヘルパーミーティング(財田地区は文書にて周知)
			個別カンファレンス5件
	16日	3	介護リーダー会議(組織体制・業務所管 他)
	5月7日	36	新型コロナ感染対応(文書にて周知)
	13日	3	介護リーダー会議(5~6月行事予定 他)
	6月10日	3	介護リーダー会議(共同送迎 他)
	7月14日	3	介護リーダー会議(7月行事予定、共同送迎 他)
	17日	3	新型コロナ感染対応(文書にて周知)
31日	3	新型コロナ感染警戒期対策(文書にて周知)	
		障害福祉サービス集団指導・自己点検表作成(中止)	

	8月 11日	1	リスクマネジメント研修会
	12日	3	介護リーダー会議（8月行事予定、感染症対策支援 他）
	23日	36	新型コロナ感染症対応注意喚起（文書にて周知）
	9月 15日	3	介護リーダー会議（9月行事予定 他）
	10月 15日	3	介護リーダー会議（10月行事予定 他）
	23日	36	新型コロナ感染症対応注意喚起（文書にて周知） 携帯用消毒薬配布
	11月 4日	1	介護トピックセミナー
	11日	3	介護リーダー会議（11月行事予定 他）
	23日	35	新型コロナ感染対策（文書にて周知）非接触型体温計配布
	12月 15日	3	介護リーダー会議（12月行事予定 他）
令和3年	1月 13日	3	介護リーダー会議（行事予定、他）
	19日	5	職員研修 交通安全セミナー（オンライン研修）
	16日	1	サービス提供責任者実践力研修会
		3	介護リーダー会議（介護職員処遇改善加算）
	3月 16日	1	福祉サービス苦情対応研修会（オンライン研修）
	3	介護リーダー会議（介護職員処遇改善加算キャリアパス要件）	
			介護サービス事業所集団指導（中止）
	その他	1	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）1/21、2/4
		1	強度行動障害支援者養成研修（実践研修）3/10、3/11

※介護サービス事業者協議会研修（中止）

11. 障害福祉サービス事業 事業費 6,798,845円

身体障がい・知的障がい・精神障がい等のある人の日常生活を支援し、自立した生活を営むことができるようヘルパー派遣を行った。

家事援助が大半を占めているが、通所利用者の移動時の見守り・支援、入浴介助・通院、外出時の援助・排泄行為の介助などのサービスも実施した。

(1) 障害福祉サービス事業（居宅介護） 事業費 6,226,875円

(2) 障害福祉サービス事業（行動援護） 事業費 571,970円

<区分別利用人数> (単位:人)

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
9	15	9	3	2	0	38

延利用者数 413人(前年度末 350人) 前年度末対比 118.0%

(内訳 居宅介護 400人・行動援護 13人)

給付費収入 7,147,138円

<月別利用人数> (単位:人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
32	33	34	33	32	34	35	35	34	36	37	38	413

<月別利用回数>

前年度末 2,291 回 対前年比 125.2%

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅	213	187	210	235	229	237	235	242	214	233	243	294	2,869
行動	9	8	9	7	8	8	9	7	8	8	7	9	

12. 移動支援事業

(三豊市受託事業)

事業費 1,672,137円

1回あたりの費用 30分まで 1,500円
 1時間まで 3,000円
 以後30分につき 1,000円

<月別利用人数>

前年度末 72人 対前年比 97.2%

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5	5	7	6	5	7	5	5	7	6	6	6	70

<月別利用回数>

前年度末 455回 対前年比 102.0%

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
38	34	42	39	39	43	39	35	38	37	36	44	464

13. 高齢者デイサービスセンター事業

(三豊市受託事業)

事業費 41,916,520円

三豊市財田町デイサービスセンターの運営を三豊市から受託し、各種のサービスを提供することにより、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図るとともに、家族の身体的・精神的な負担の軽減を図ることを目的に実施した。

<活動内容>

時間帯	活動内容
9時～	職員が送迎車で自宅に迎え
9時45分～15時	健康チェック・入浴・手作業・昼食・機能訓練・レクリエーション・おやつ等
15時15分～	職員が送迎車で自宅に送る

<月別実施状況>

前年度利用延人数 4,572人 対前年比 106.5%

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	17	23	242日
月別利用者数	41	42	43	45	44	43	46	45	47	43	44	45	4,871人
利用延人数	403	346	464	449	401	403	443	392	400	373	351	446	

※ 1日平均利用人数 20.1人

14. 生活支援通所事業 (三豊市受託事業) 事業費 2,363,147円

総合事業(通所型サービスA事業)は、高齢者が要介護状態にならないように、レクリエーションや入浴など生活支援を行い、誰もが住みなれた地域での生活の継続するため「環の湯」にて週1回、水曜日に実施した。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため通所サービスを一時休止したが、6月24日より感染予防対策を講じたうえで再開した。

※利用者負担額 1回 一律1,230円(昼食、『環の湯』入浴料含む)

<月別実施状況>

前年度利用延人数 510人 対前年比 56.9%

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	休止	休止	1	4	4	4	4	4	4	4	3	4	36
月別利用者数	0	0	6	7	8	8	9	9	9	9	9	9	
利用延人数	0	0	6	28	31	32	35	33	31	33	25	36	290

※ 1日平均利用人数 8.1人

15. 高齢者生活福祉センター事業 (三豊市受託事業)

事業費 370,000円

三豊市財田町高齢者生活福祉センターは、高齢のため居宅において生活に不安のある者に対し、必要に応じ住居を提供する事業である。

生活援助員が行う事務のうち、平日の昼間において入居している1名からの各種相談及び助言や安否確認等を行った。

16. その他事業

(1) 老人クラブ連合会

三豊市老人クラブ連合会では、高齢者福祉の理念に基づき「健康・友愛・奉仕」を基本に、健康で生きがいのある生活の実現と、高齢者の保健福祉の健全な発展に寄与することを目的としている。

当連合会の事務局を務め各所への連絡調整、会議・委員会の開催、行事の開催等の支援を行った。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により、予定していた行事の多くは中止を余儀なくされたが、DVD鑑賞や規模を縮小しての開催など、少しでも行事が実施できるよう検討した。

<総会・理事会・女性委員会・部会>

開催日	会議名等	参加人数
令和2年 4月 14日	第144回理事会	7
4月 22日	第1回女性委員会	7
5月 1日	第145回理事会	9
7月 15日	第146回理事会	9
7月 27日	第1回健康長寿部会	13

	8月 20日	第147回理事会	9
	9月 10日	第2回健康長寿部会	12
	9月 16日	第148回理事会	9
	10月 6日	第2回女性委員会	7
	10月 12日	第1回生涯学習部会	7
	10月 16日	第149回理事会	9
	11月 5日	第1回広報部会	6
	11月 17日	第150回理事会	9
	12月 7日	第2回広報部会	7
	12月 11日	第151回理事会	9
令和3年	1月 12日	第2回生涯学習部会	6
	1月 29日	第3回女性委員会	6
	2月 5日	第152回理事会	9
	2月 9日	第3回広報部会	7
	2月 12日	第3回生涯学習部会・健康長寿部会	18
	2月 19日	第4回女性委員会	7
	3月 18日	第153回理事会	9

<町老連・地区老連等事業>

スポーツ大会の開催 (市老連助成事業)	各町老連で運動会・種別スポーツ大会等を開催(参加人数延べ457人)
友愛チーム活動の推進	友愛チーム活動・たまり場活動の推進 (チーム数:41)(たまり場活動数:91ヶ所)
交通安全運動の推進	交通安全に関する各種活動の実施
地域の(子ども)見守り活動と 「あいさつ運動」の実施	登下校時における見守りとあいさつ運動展開 (クラブ数:20)(会員数:346人)

<市老連主催事業>

開催日	会議名等	内容	人数
令和2年 6月 3日	第6回ペタンク大会	スポーツ大会の種類を増やし、健康増進や生きがいの創出及び親睦交流	中止
7月 12日	第1回女性委員会 主催研修会	料理教室	
10月 24日	第8回 グランドゴルフ大会	健康増進や会員相互の親睦交流	
11月 11日	第2回女性委員会 主催研修会	詫間町老連女性部の活動報告、栗島(漂流郵便局、海洋記念館、芸術家村)の散策	38
11月 19日	単位クラブ 活動研修会	豊中町上高野長寿会、本山長寿会より活動報告、コロナ禍における活動の課題、見守り活動の継続について等発表 DVD録画し、後日各町老連へ配布	/
令和3年 1月 29日	第3回女性委員会 主催研修会	講演「コロナやインフルエンザに負けない身体づくり」	29

<その他研修等参加>

開催日	研修等	内容	人数
令和2年 6月7日	三豊市「歯と口の健康フェスタ」への協力	口を使った遊びコーナーを担当約400組の親子と交流及び指導（ピロピロ笛、折り紙風船作りなど）	中止
7月9日 ～10日	中国・四国ブロック 老人クラブリーダー研修会	(岡山県倉敷市)	中止
8月26日	第62回 四国老人クラブ大会	(高知県高知市)	中止
9月	老人の日・老人週間 「社会奉仕の日」	各地区老人クラブで実施	
9月29日	シニアスポーツ交流大会 (ペタンク)	坂出番の州公園	中止
10月22日	シニアスポーツ交流大会 (グラウンドゴルフ)	高松市立東部運動公園で開催	14
11月17日 ～18日	全国老人クラブ大会	(山形県)	中止
11月20日	ぼちぼちクラブ香川 みんなの集い	リモート開催・録画DVD 表彰式典、消費者被害防止、いきいきクラブ体操、文化芸能発表	
12月4日	シニアスポーツ交流 ボウリング大会	太洋ボウルで開催	不参加
令和3年 3月	地域支え合いリーダー 研修会	資料、DVD配布（事例発表 等）	15

(2) 共同募金事業

地域の福祉活動を支援し、活動の財源とするため共同募金運動に協力し、市民の理解を深めた。また、三豊市共同募金委員会として、募金活動及び助成に関わる業務について運営委員・審査委員との協議を行いながら、地域活動への援助を行える体制に努めた。

<一般募金>

(単位:円)

募金方法	目標額(A)	実績額(B)	比較増減(B) - (A)
戸別募金	16,800,000	16,522,500	△277,500
街頭募金	160,000	40,257	△119,743
法人募金	3,400,000	3,420,500	20,500
学校募金	570,000	637,964	67,964
職域募金	1,060,000	1,097,000	37,000
イベント募金	10,000	5,850	△4,150
個人募金	50,000	14,193	△35,807
その他の募金	200,000	243,638	43,638
合計	22,250,000	21,981,902	△268,098

<街頭募金>

地区名	実施日	実施場所	参加人数
高瀬	令和2年10月1日	マルヨシセンター高瀬店	4
山本	10月1日	マルナカ山本店	5
豊中	10月1日	ゆめタウン三豊	10
	12月5日		6
財田	12月5日	道の駅たからだの里物産館	4

<審査委員会>

開催日	内容	結果
令和2年 5月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業共同募金地域助成申請に係る審査について ・令和3年度共同募金推進計画について (書面による決議)	承認 承認
令和3年 2月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度募金結果について ・令和3年度事業共同募金地域助成計画(最終)について 	報告 承認

<運営委員会>

開催日	内容	結果
令和2年 6月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員の選任について ・会長及び副会長の互選について ・監事の選任について ・令和元年度共同募金収支決算について ・令和3年度事業共同募金地域助成計画統括表について ・令和3年度共同募金推進計画について 	承認 承認 承認 承認 承認 承認
令和3年 3月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度地域助成事業の辞退及び中止、変更について ・令和2年度募金結果について ・令和3年度事業共同募金地域助成計画(最終)について ・令和3年度三豊市共同募金委員会収支予算(案)について 	報告 報告 承認 承認

<会計監査>

開催日	主要付議事項	結果
令和2年5月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度決算監査 	認定

<令和元年度共同募金(令和2年度事業)地域助成事業>

(単位:件/円)

助成先(事業執行者)	事業件数	事業名	助成金額
三豊市社会福祉協議会	6	サロン活動推進事業、広報啓発事業、福祉教育推進事業、災害対策推進事業、まるみプラン推進事業、地域我が事・丸ごと推進事業	10,009,893
地区社協 自治会連合会等	28	高齢者見守り交流事業、ボランティアスキルアップ事業、集いの場支援事業、地域交流活動支援事業、防災対策事業等	2,573,000
福祉団体 ボランティア団体	60	生涯学習事業、地域子育て支援事業、こども手話教室事業、環境美化運動、点字絵本作成事業、友愛訪問活動、更生保護事業、ボランティア地域交流活動、子ども食堂事業、海岸清掃事業、子育て支援事業等	3,870,000
合計	94		16,452,893

※助成申請 105 事業中、2 事業が助成を辞退し、新型コロナウイルス感染症の影響により 9 事業が中止となった。

(3) 子育てボランティアみみちゃん

子育てボランティアみみちゃんは、自分たちにできる育児の手伝いと、三豊市社協が取り組む子育て支援事業への協力を目的に設立し活動している。三豊市社協が事務局を務め、三豊市内での行政、各種団体からの託児ボランティア派遣要請に対し、連絡調整を行った。また、年間を通じて知識の習得や会員同士の親睦の機会を持つため研修会等を企画、実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止により、子育て世代のイベントの中止が相次ぎ、託児依頼が激減した。

<託児活動>

行事名	回数	託児ボランティア数	依頼団体
離乳食講習会	4	11	三豊市子育て支援課
男女共同参画講演会	1	2	三豊市人権課
合計	5	13	

<自主行事>

開催日	活動内容	開催場所	人数
令和2年9月29日	研修会(ヨーガ療法体験) 講師:山原 香織 氏	みとよ未来創造館	17
11月17日	フラワーアレンジメント 講師:関 美保 先生	豊中町保健センター	17

(4) フードバンク事業

フードバンク事業は、寄付いただいた食料品等を、支援を必要とする方に提供しており、29件の相談及び支援を行った。

この事業は「おもいやりネットワーク事業」や「生活福祉資金貸付事業」と調整を図り、地域で自立した生活ができるよう支援することを目的としている。

夏場の保存場所等の関係から取り扱う食料品は、常温保存のみとしていたが、年間を通して玄米等の寄付があることから、中央共同募金会の「フードバンク活動等応援助成」により、保冷庫及び精米機を整備することができ、困窮世帯などへの支援がさらに広がった。